平成から令和へと新しい時代を迎えます。

「令和」には、厳しい寒さの後に見事に咲き誇る梅の花のように、一人一人の日本人が、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることが出来る、そうした日本でありたいとの願いがこめられているのだそうです。時を同じくして天王寺川中学校も、今年度、創立五十周年という、記念すべき節目の年を迎えます。夢と希望に満ちた未来に向けて踏み出す節目の時であり、国も学校も、生徒たちも、共に、新たな道へと、自らの歴史を刻んでいく、はじまりの年となります。

校名である「天王寺川」は、学校の西に隣接して流れており、豊かな自然とともに生徒の活動を静かに見守ってくれています。

本校では、「自分を育て　自分を生かし　社会を明るく」という校訓のもと、学校教育目標を「夢と誇りのある生徒の育成」と掲げ、授業や行事、部活動の充実により、生徒が自分の意志・判断で、且つ自ら責任を持ち行動する態度を育てることに努めています。

中学校の期間は、生徒にとって、心身ともに子どもから大人へと大きく変化する時期ですが、生徒達は、活発で明るくバイタリティにあふれ、素朴さ、素直さを持ち、何事にも前向きに日々の学校での教育活動に取り組んでいます。特に部活動が盛んであり、運動部、文化部ともに毎年、素晴らしい活躍をしてくれています。また、各種作品展等で多くの生徒が入賞し、日頃の取組の成果を発揮しています。

現在、活躍する生徒を支援するため、学校運営協議会（コミュニティスクール）を設置し、学校、保護者、地域、延いては校区内学校園がお互いに手を取り合い協働する体制を目指し取り組んでいます。

本年度も、さらなる教育活動の充実を図るため、「確かな学力の向上「豊かな心と健やかな体の育成」「信頼される開かれた学校作りの運営」「教職員の意識改革と資質の向上」を目標に据え、生徒が学びに向かい、学びを生かす取り組みを高める中で、生徒に「夢」を持たせ、「誇り」を育む教育に勤しんでまいります。本校での学びをとおして、生徒が、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって主体的且つ意欲的に学び続けてくれることを強く願っております。

今後とも天王寺川中学校を見守り、ご支援いただきますようお願い申し上げます。

平成３１年４月　　早﨑　潤